

令和6年1月号



# 喜志小だより

笑顔いっぱい！『喜志一心（きしいっしん）』～児童・保護者・地域・職員が、喜志小で心ひとつに～



あたら とし はじ おも ゆうじん ことば おも だ  
 新しい年の始まりに思うこと～友人の言葉を思い出す～

こうちょう もりわか ともこ  
 校長 森若 智子

喜志小  
 ホームページ



あたら とし はじ ほんねん ねが  
 新しい年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

ことし かんじつ いしかわけんの の とちほう しんげん つよ じしん  
 今年は、元日に石川県能登地方を震源とする強い地震がありました。

さいだいしんど かんそく ばんぐみ ひなん よ ほうそう か いま  
 最大震度7を観測し、テレビ番組も避難を呼びかける放送に変わりました。そして、今も  
 ひさいち いえ どうろ こわ かたがた しえん きゅうじょ ま  
 被災地では家や道路があちこちで壊れ、たくさんの方々が支援や救助を待っています。

じしん お かんじつ お ほんとう おどろ  
 地震はいつ起きるかわからないものですが、まさか元日に起きるとは。本当に驚きました。

れんじつ み ゆうじん ことば おも だ ゆうじん ふくしまけん ざいじゅう  
 連日ニュースを見ながら、友人の言葉を思い出しました。友人は、福島県に在住しており、

ねん ひがしにほんだいしんさい ひさい どうじ ふくしまけん あ い わたし ゆうじん  
 2011年の東日本大震災で被災しました。当時、福島県まで会いに行った私に、友人が

ふきん あんない じしん はんとしちか た かか はい どうろ  
 付近を案内してくれました。地震から半年近く経っていたにも関わらず、ひびの入った道路、

こわ しんごうき てっきん ほねぐ たてものなど のこ  
 壊れたままの信号機、鉄筋の骨組みだけになった建物等がたくさん残されたままになって

いました。言葉が見つからず黙ったままの私に、友人は「ここで見たことをしっかり目に焼

き付けてほしい。そして、学校の子どもたちに見たこと、感じたことを伝えてほしい。あなたは

きょうし 教師なのだから、それができるから。」と、言いました。今回の地震でも、今自分たちが直接

ひさいち かたがた し おも よ  
 被災地の方々にできることはないのかもしれませんが。でも、知ること、思いを寄せることはで

きると思います。被災地で起きていることを知り、それを忘れないこと、そして、自分たちも

じしん そな たいせつ おも  
 地震に備えることが大切だと思ひます。

き ししょうがっこう まいとし がつ じしん ひなんくんれん おこな ねん お  
 喜志小学校では、毎年1月に地震の避難訓練を行っています。これは、1995年に起き

はんしん あわじだいしんさい わす おも ゆ かん とき お つ  
 た阪神・淡路大震災を忘れないという思いからです。いざ揺れを感じた時に、落ち着いて

こうどう じぶん み まも こうどう こ とも くんれん のぞ  
 行動できるように、自分の身を守る行動ができるように、子どもたちと共に訓練に臨みたい

おも  
 と思ひます。

はる うみ  
 春の海



おんがくたんどう  
 音楽担当

新年あけましておめでとうございます。

お正月になると神社でよく流れている曲があります。多くの人が1度は耳にしたことがあると思いますが、曲についてはあまり知られていないのではないのでしょうか。曲名は「春の海」で、琴や尺八によって演奏されます。現代では春というと4月頃を思い浮かべますが、正月を「新春」というように旧暦での春

は2月頃でした。つまり、本来正月を迎える1月頃は春の始まりで「新春」だったのです。また、作曲家である宮城道雄自身が旅した瀬戸内海をイメージしてつくられたといわれ、ここから「春の海」と名付けられたようです。

私たちの生活の中には、四季折々にちなんだ様々な曲があふれています。変化・発達が目まぐるしい現代ですが、たくさん曲が長い間変わらず歌い継がれており、それらを日本の未来の担い手である子どもたちと共に学べることを、私自身幸せに感じています。

今日から3学期のスタートです。気持ちも新たに、学年末のいい締めくくりができればと思います。今年もよろしくお願いいたします。

あらためまして…「にじいろ」はこんなところで



つうきゅうしどうきょうしつ たんどう  
 通級指導教室「にじいろ」担当



喜志小学校に通級指導教室（通級）が設置されて3年目です。「にじいろ」教室と呼んでいます。この名称には、『いろいろなニーズのある子どもたちの学びの場になりますように』との願いがこめられています。1年目、2年目と少しずつ通級に通う子どもたちが増え、今年度4月から2教室になりました。現在、約30人の子どもたちが学びにやってきました。通級での学習に良さを感じ、卒業後も希望して中学校の通級を利用する子たちもいます。

通級は、子どもの自立をめざし、一人ひとりの状況に応じた指導を行うところです。通っている子どもたちは、基本的に教科の学習はそれぞれのクラスで学んでいます。子どもたちのもっている力はさまざまで、得意を感じる強い力もあれば、苦手を感じる弱い力もあります。もっている力のバランスのでこぼこは、多少なりとも誰にでもあります。担任の先生がそのことに気づき、クラスの中でできる工夫や配慮をしていますが、子ども本人が自分に良さを感じ、教室での学びに意欲を持ち続けるためのサポートがもっとできればいいなとなった時、その子に合った学びの場として「にじいろ」を提案しています。にじいろでは、子どもがどんなことにどのように困っているのか、要因となることはどんなことだろうかを考え、指導や支援をしています。

にじいろに通う子どもたちは、週に1・2時間の授業で、苦手なところをトレーニングしたり、得意なところを生かして克服していくための方法を学んだりしています。自分のやりやすい方法がわかることで苦手な課題に対して前向きになった、できるようになって他のこともがんばるようになってきた、そういった子どもたちの変化や成長は、私たちにとって大きな喜びです。



## ☆2月の学習参観について

今年度最後の学習参観です。子どもたちの頑張る姿をぜひご覧ください。

学習参観は5時間目(13時45分から14時30分)、懇談会・親子交流会は6時間目(14時40分から15時25分)です。ただし、6年生のみ、13時30分開始となりますので、ご注意ください。

- ・2月 1日(木) 3年生・懇談会
- ・2月 2日(金) 2年生・懇談会
- ・2月 9日(金) 5年生(舞台発表)・親子交流会
- ・2月13日(火) 4年生・懇談会
- ・2月22日(木) 6年生(舞台発表)・親子交流会
- ・2月29日(木) 1年生(舞台発表)・親子交流会



## ☆子ども安全見守り隊の方々へ感謝の会を行いました。

暑い日も寒い日も、毎日子どもたちの登下校を見守ってくださっている子ども安全見守り隊の皆様。子どもたちがお礼の気持ちを込めて、手紙を書きました。児童会が代表して、感謝の会でお礼の言葉とともにお渡ししました。日々、子どもたちが安全に安心して登校できるのも、子ども安全見守り隊の皆様が日々見守っていただいているおかげと感謝しております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## ☆大谷翔平選手からグローブが届きました。

メジャーリーグの大谷翔平選手から全国の小学校にプレゼントされたグローブが、喜志小学校にも届きました。

右利き用2個、左利き用1個、そして大谷翔平選手のサインと『野球しようぜ!』のメッセージが添えられたカードが入っていました。

始業式の日、全校の子どもたちにお披露目したいと思います。